7 大野市 越前大野城

県指定史跡



【築城年】天正8年(1580)
【城　主】金森長近、青木一矩、織田秀雄、松平直政、松平直基、土井利房、土井利忠
【所在地】大野市城町

織田信長家臣の金森長近が築城した平山城。現在の天守は昭和43年に築造されたもので、建物内部で城主に関わる資料を展示している。雲海に浮かぶ「天空の城」とも呼ばれている。大野城の遺構と伝わる「伝越前大野城不明門」、「伝大野城式台前門(喜多山家長屋門)」、「旧鳩門」が市内に現存する。



【アクセス】
JR越前大野駅から南登り口まで徒歩20分
中部縦貫道大野ICから車で10分(駐車場あり)

8 鯖江市 福井市 三峯城

鯖江市指定史跡



【築城年】延元2年、建武4年(1337年)
【城　主】脇屋義助
【所在地】鯖江市上戸口町、西袋町
福井市鹿俣町

「太平記」によれば延元2年、建武4年(1337)、平泉寺衆徒が築城した後、新田義貞の弟の脇屋義助が入城しており、南朝方の重要拠点であったことが伺える。連郭式山城で階段状に並ぶ複数の曲輪とそれらを区画する堀切のほか竪堀や虎口・土塁などが良好に遺存。頂上(本丸)から福井平野と日本海を一望できるほか、眼下には一乗谷を望むことができる。



【アクセス】
鯖江市コミュニティバス(つつじバス)中河・北中山線「上戸口」停留所下車、徒歩で約2時間。車で県道25号線から林道に入り旧三峯村跡駐車場利用、徒歩約20分。
※冬季は積雪のため林道は通行不可。

9 池田町 亀山城

町指定史跡



【築城年】中世
【城　主】不明
【所在地】池田町持越

大きく蛇行する足羽川に囲まれた天険の要害の地にあって、尾根の先端を利用して築かれた山城。現在も曲輪や空堀が確認できる。南北朝期に斯波高経が立てこもったともいわれている。国道476号線の切り通しを挟んで西方の山上にも竪堀を備えた砦跡や曲輪跡が確認できる。



【アクセス】
北陸自動車道鯖江ICまたは武生ICから車で約30分。

10 鯖江市 越前町 三床山城

鯖江市指定史跡　越前町指定史跡



【築城年】不明
【城　主】伝宮川要光、伝斯波高経
【所在地】鯖江市和田町・石生谷町、越前町佐々生

別名、御床ヶ嶽城。三床山山頂(標高約280m)を中心に築かれた連郭式山城。全体的に保存状況が良好で、堀切などの遺構が明瞭に確認できる。山頂からは白山連峰や越前山地を東に望み、日野川水系に沿って福井平野南部から鯖江・武生・南条方面の広範囲を眺望できる。



【アクセス】
(石生谷トンネルコース)
鯖江市コミュニティバス豊線「石生谷」停留所下車、山頂まで徒歩60分　登山者用駐車場利用可
(佐々生コース)
福鉄バス鯖浦線「佐々生」下車、山頂まで徒歩60分　宇田生活改善センター駐車場利用可(10台)

11 越前市 武衛山城



【築城年】中世
【城　主】伝斯波義敏
【所在地】越前市池泉町

標高321mの武衛山の山頂に築かれた山城で、山頂からは味真野地区が一望できる。応仁の乱の頃に越前・尾張・遠江の前守護であった斯波義敏によって築城されたといわれている。麓には斯波氏が居を構えた鞍谷御所があり、土塁と空堀が残っている。



【アクセス】
北陸自動車道武生ICから車で5分、万葉の里味真野荒駐車場を利用、登山口より山頂まで徒歩約60分

12 南越前町 杣山城

国指定史跡



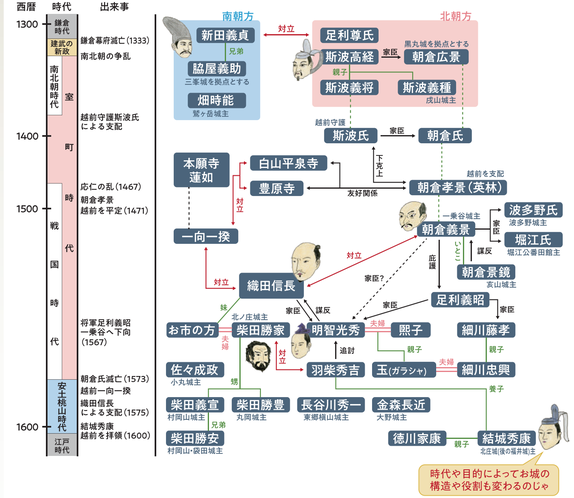
【築城年】14世紀前半
【城　主】瓜生衛、瓜生保、新田義貞、斯波高経、河合安芸守宗清
【所在地】南越前町阿久和、中小屋、社谷

杣山山頂に築かれた天然の要塞で、越前国府までを一望できる軍事・交通の要衝に位置している。山城は大小の曲輪と切岸、堀切が配置され、複数の礎石建物が確認されている。山麓に城主の居館跡が残っており、城戸口には土塁と外濠が現存する。南北朝時代に南朝軍の拠点として「太平記」にも登場し、その後も越前守護斯波氏や朝倉氏家臣の居城であった。

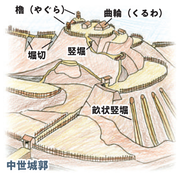


【アクセス】
北陸自動車道南条スマートICまたは今庄ICから車で約10分、ハピライン南条駅から徒歩約50分、城戸の外の林道終点から登る第一登山道、「居館跡」から登る第二登山道、「花はす温泉」の裏手から登る第三登山道がある。

ふくいの城をめぐる人物相関図



時代とお城の移り変わり



中世城郭

戦が日常的にあった南北朝時代や戦国時代にかけて数万もの数の城が築かれ、その大半が山城。山の地形を利用して竪堀や堀切など防御機能を設けた言わば「軍事施設」。



近世城郭

戦乱が落ち着いた江戸時代前期に中心に造られたのは、石垣や城門などを備えた城。天守が権力の象徴でもあり、政治の拠点。

発行元　ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン文化振興事業推進部会(令和7年3月)
福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、越前町
問い合わせ先　福井市商工労働部観光文化スポーツ局文化振興課　〒910-0858 福井市手寄1-4-1 AOSSA 5階　TEL：0776-20-5367　FAX：0776-20-5670



Treasure Place お城編

1 あわら市 神宮寺城

市指定史跡



【築城年】戦国時代
【城　主】不明
【所在地】あわら市指中、沢

戦国時代頃に加賀国一向一揆勢を防ぐ拠点として築城され、標高55m、東西約270m、南北250mの規模で、あわら・坂井市域で最大級の山城。頂上部に主郭とされる曲輪があり、その下位に20以上の曲輪が形成されている。春日神社の別当として当地に創建された神宮寺が名前の由来。見学する際は事前に神宮寺城跡保存会へ要連絡。(090-5175-8132)



【アクセス】
ハピライン細呂木駅から徒歩15分
北陸自動車道金津ICから車で10分
(スポット)
火縄銃(エアガン)射的体験付き森に潜む城・神宮寺城戦国ガイドツアー毎月第1土曜日
※要予約

2 坂井市 丸岡城

国重要文化財



【築城年】16世紀後半
【城　主】柴田勝豊、本多成重、有馬清純など
【所在地】坂井市丸岡町霞町

二重三階の現存天守をもつ平山城で、五角形の内堀内に本丸、二の丸を配置し、その外側に三の丸、外堀がめぐる。本丸の石垣は多くが積み直されているものの、一部には古い石垣が確認できる。内堀は埋められているものの、市街地の道路の形状としてその輪郭が残っており、内堀の外側を添うように散策することができる。また、城下町には各所に福井口門、神明口門、藩校平章館跡といった案内標柱が設置されている。

【アクセス】
京福バス「丸岡城」停留所下車、徒歩1分
ハピラインふくい丸岡駅下車、京福バス「三国丸岡線」利用
北陸自動車道丸岡ICから車で10分

3 勝山市 村岡山城

市指定史跡



【築城年】天正2年(1574)
【城　主】一向一揆勢
柴田義宣・勝安
【所在地】勝山市村岡町

天正2年(1574)、一向一揆勢が平泉寺を攻撃する際に立てこもったと伝わる。この戦いに一揆勢が勝利したことから「かちやま」と呼ばれ、勝山の地名の由来となった。その後、柴田義宣・勝安が一向一揆勢と戦うために改修したと考えられており、城の東側には、虎口や土塁・畝状竪堀などの厳重な防御ラインがある。山頂(標高301m)からは勝山市内が一望できる。



【アクセス】
えちぜん鉄道勝山駅発ぐるりん中部バス「寺尾」下車、登山口まで徒歩10分。
中部縦貫自動車道勝山ICから車で15分。寺尾ふれあい会館駐車場利用(3台)

4 永平寺町 波多野城

県指定史跡



【築城年】中世
【城　主】波多野氏
【所在地】永平寺町花谷・荒谷

越前志比荘の豪族波多野氏が山麓に構えた館とともに標高473.79mの城山山頂に築いた山城。堀切、竪堀、畝状竪堀、切岸が多数存在するなど防御態勢が整ったつくりとなっており、一乗谷城とその構造がよく酷似している。室町時代後期に朝倉貞景の五男道郷が波多野家の家督を継いでおり、それを裏付けることができる。

【アクセス】
えちぜん鉄道光明寺駅から登山口(友遊広場)まで徒歩4分、登山口から山城まで徒歩約90分
北陸自動車福井北ICから車で約10分

5 福井市 福井城



【築城年】慶長11年(1606)
【城　主】結城秀康
【所在地】福井市大手1丁目

徳川家康の次男・結城秀康が慶長11年(1606)に築城し、約270年間17代にわたる越前松平家の居城。当時の縄張りは本丸を中心に3～4重の曲輪が巡る輪郭式平城で、東は新荒川、南は足羽川を境とする2km四方の規模を誇った。築城当時は高さ37m、四重五階の天守閣が建っていたが、寛文9年(1669)の大火で焼失。現在は本丸の笏谷石垣と堀の一部だけが残る。



【アクセス】
JR福井駅から徒歩7分
北陸自動車道福井ICから車で20分

6 福井市 一乗谷城

国指定特別史跡



【築城年】中世
【城　主】朝倉氏
【所在地】福井市城戸ノ内町、安波賀町

一乗谷は、谷の最も狭まったところに位置する下城戸と上城戸で仕切られた中に、城下町が築かれていた。朝倉氏館の背後、標高473mの一乗城山の山頂に築かれた山城は、南北600mに渡って尾根上に曲輪や堀切、土塁、竪堀などが並んでいる。中でも尾根の斜面一帯に140か所以上掘られている畝状竪堀は圧巻で、この城の防御力の高さを示している。晴れた日は、日本海に面した三国湊まで福井平野が見渡せる。

【アクセス】
JR越美北線一乗駅から登山口まで徒歩20分
北陸自動車道福井ICから車で10分(駐車場あり)

ふくいのお城マップ

13 あわら市 細呂木館（ほそろぎやかた）



【築城年】戦国時代
【城　主】細呂木治部丞
　　細呂木薩摩守
【所在地】あわら市細呂木

北潟湖畔に突き出た標高37mの半独立丘陵上に築かれた山城で、すぐ際を北陸道が通る交通の要衝に立地。曲輪、土塁、堀切が確認できる。南側には春日神社が鎮座している。近くに北陸道の関門として設けられた細呂木関所跡がある。

〔アクセス〕
ハピラインふくい細呂木駅下車、徒歩40分

14 あわら市 堀江公番田館（ほりえこうばんでんやかた）

市指定史跡



【築城年】長禄年中（1460年頃）
【城　主】堀江景經
【所在地】あわら市番田

鎌倉時代以来当地に土着し、坂井郡一帯を支配した堀江氏一族の居館跡で、竹田川の水利を掌握する要地に築かれた。文明年間（1470年頃）以降は朝倉氏に臣従したが、永禄10年（1567）年堀江景忠の時に一揆勢への内通を疑われ、朝倉勢に攻められた。現在は城跡の遺構は残っておらず、付近に石碑が建てられている。

〔アクセス〕
えちぜん鉄道三国芦原線番田駅下車、徒歩3分

15 坂井市 雨乞山城（あまごいやまじょう）



【築城年】中世
【城　主】一向一揆
　　柴田勝豊
【所在地】坂井市丸岡町小黒

豊原寺を囲む山城のひとつ。丸岡城は柴田勝豊が豊原にあった城を移したといわれ、勝豊が居城した山城が雨乞山城であったともいわれている。

〔アクセス〕
京福バス「畑中」停留所下車。
案内板に従って雨乞山城コースを進み徒歩30分。

16 勝山市 鷲ヶ岳城（わしがだけじょう）

市指定史跡



【築城年】鎌応4年、興国2年（1341）
【城　主】畑時能
【所在地】勝山市北郷町

『太平記』に登場する山城。南朝方の畑時能が立てこもり、北朝方の斯波高経と戦ったが、踏で戦死した。付近には時能の塚がある（畑ヶ塚）。山頂（標高769m）に平坦地が残るほか、南西にのびる尾根には曲輪、南東側の登山道沿いには時能関連の伝承地がある。

〔アクセス〕
えちぜん鉄道越前竹原駅または小舟渡駅下車、登山口まで徒歩で約30分、山頂まで180分。
中部縦貫自動車道勝山ICから約15分、上志比ICから約10分、
伊知地集落内の駐車場（10台）利用。

17 福井市 高須城（たかすじょう）



【築城年】南北朝時代
【城　主】畑時能
【所在地】福井市高須城町

標高438mの高須山に築かれた山城。山頂部を中心に曲輪、堀切、空堀、土塁が確認できる。南北朝時代に南朝軍の拠点として『太平記』にも登場し、新田義貞の臣、畑時能が居城し、北朝の足利軍と戦があったことが記されている。

〔アクセス〕
福井市中心部から車で高須町高須城小学校（休校）まで約50分、小学校に駐車可能。
ここから登山道を通り山頂まで徒歩50分。

18 福井市 北庄城（きたのしょうじょう）

御



【築城年】天正3年（1575）
【城　主】柴田勝家
【所在地】福井市中央1丁目

朝倉氏滅亡後に越前を統治した柴田勝家が築いた巨大城郭。屋根に笏谷石が葺かれた美しい姿を宣教師のルイス・フロイスが書き記している。発掘された石垣の一部が柴田神社境内に残されている。

〔アクセス〕
JR福井駅から徒歩7分
北陸自動車道福井ICから車で20分

19 福井市 東郷槇山城（とうごうまきやまじょう）

御

市指定史跡



【築城年】戦国時代
【城　主】朝倉氏、長谷川秀一
【所在地】福井市安原町、小路町

東郷地区の通称"城山"に築かれた山城で、朝倉氏が一乗谷に本拠地を移してから、出城として本格的に整備された。天正12年（1584）に豊臣秀吉の家臣、長谷川秀一が城主となり、規模の大きな曲輪群を築くなど大規模な改築が行われた。

〔アクセス〕
JR越美北線東郷駅から登山口まで徒歩15分
北陸自動車道福井ICから車で5分（駐車場あり）

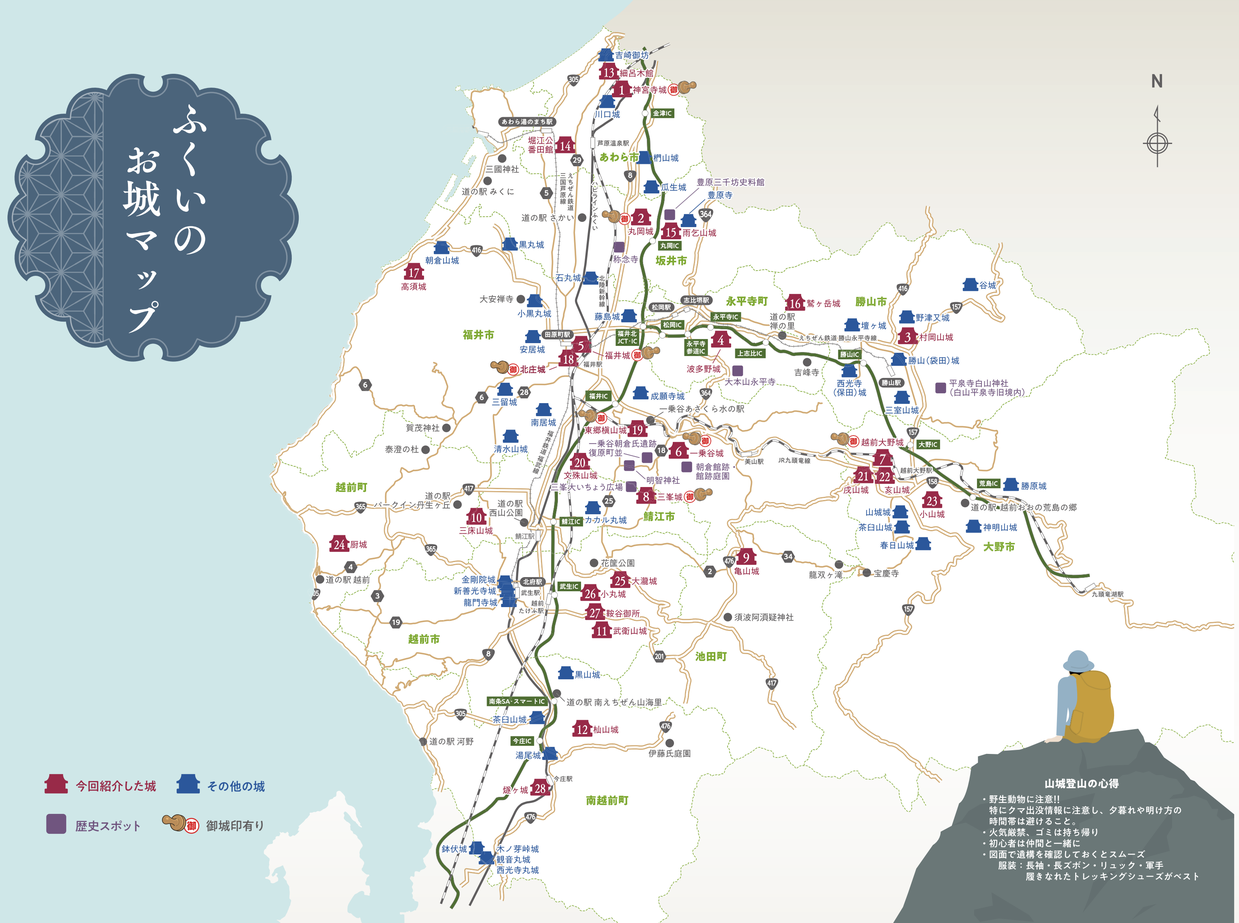
20 鯖江市 福井市 文殊山城（もんじゅさんじょう）



【築城年】不明
【城　主】不明
【所在地】鯖江市南井町、
　　福井市角原町・生野町

泰澄大師が文殊菩薩を祀ったことに由来する文殊山の山頂（365m）を中心に展開する山城。曲輪・切岸・堀切・竪堀・畝状竪堀群などが遺存する。現在は山頂に文殊堂が祀られ、多くの人が訪れる人気の登山スポットとなっている。

〔アクセス〕
北陸自動車道鯖江ICから車で15分　登山口は6か所、
角原コース（約40分）、二上コース（約50分）、大村コース（約60分）、大正寺コース（約50分）、
南井コース（約50分）、四方谷コース（約90分）



山城登山の心得

- 野生動物に注意!!
  特にクマ出没情報に注意し、夕暮れや明け方の時間帯は避けること。
- 火気厳禁、ゴミは持ち帰り
- 初心者は仲間と一緒に
- 図面で遺構を確認しておくとスムーズ
  服装：長袖・長ズボン・リュック・軍手
  履きなれたトレッキングシューズがベスト

21 大野市 戌山城（いぬやまじょう）

市指定史跡



【築城年】中世
【城　主】斯波義種、斯波満種、斯波持種、
　　斯波義鏡、
　　朝倉経景、朝倉景職、朝倉尹景
【所在地】大野市犬山

大野斯波氏（修理家）の居城。本丸近くに天空の城「越前大野城」の撮影スポットがある。本丸までの登り口は3ルートを整備（「鍬掛コース」「ほたるの里コース」「みくら清水コース」）。「みくら清水コース」登り口のみくら清水は、兵が1日に3度、水を汲みに来たことを名の由来とする。

〔アクセス〕（鍬掛コース）京福バス大野線「鍬掛」停留所下車　本丸まで徒歩35分
（ほたるの里コース）京福バス大野線「犬山」停留所下車　本丸まで徒歩45分
（みくら清水コース）京福バス大野線「犬山」停留所下車　本丸まで徒歩30分

22 大野市 亥山城（いやまじょう）

市指定史跡



【築城年】暦応年間、延元3年～興国2年
　　（1338～41）
【城　主】堀口氏政、朝倉光玖、朝倉景高、
　　朝倉景鏡、杉浦壱岐、原政茂
【所在地】大野市日吉町

歴代大野郡司の居城。現在は日吉神社境内になっている丘陵一帯に城があったと推定されている。高低差は約10mで、神社西側に堀跡の一部が残っている。朝倉義景を裏切った一族の朝倉景鏡は、この城の別名「土橋城」に因んで後に土橋景鏡を名乗った。

〔アクセス〕
JR越前大野駅から徒歩5分、京福バス大野線「寺町口」停留所下車　徒歩2分、
中部縦貫道大野ICから車で10分（日吉神社参詣者用駐車場、城下町東広場駐車場を利用）

23 大野市 小山城（おやまじょう）

市指定史跡



【築城年】不明
【城　主】二宮将監
【所在地】大野市、北御門、
　　猪島、森政領家

戌山城の支城として斯波氏によって築かれたといわれる。文政元年（1466）の大野郡富田荘井野の合戦で二宮将監と朝倉敏景（孝景）が戦った。麓の大字「北御門」や小字「殿下屋敷」「小堀」「堀立」は当時の名残を思わせる。

〔アクセス〕
JR越前大野駅から徒歩40分
※城跡は地元有志によって整備されているが、通路の標識がないため、見学の際には注意
（帰路の確認）が必要

24 越前町 厨城（くりやじょう）



【築城年】鎌倉時代13世紀
【城主】鳥津忠綱、斯波義将
【所在地】越前町厨

城山山頂（541m）に位置し、西は日本海、東は丹生山地から福井平野を望む絶好の要地にあたる。愛染明王を祀る信仰の山でもあり、愛染堂が建つ。熊谷からの登り口には「口城山」（くちしろやま）・「木戸口」（きどぐち）などの字名が残る。

〔アクセス〕
北陸自動車道鯖江ICもしくは武生ICより車で約45分、広域基幹林道越前西部2号線登山口から徒歩20分（登山口に駐車場あり）

25 越前市 大瀧城（おおたきじょう）



【築城年】不明
【城　主】不明
【所在地】越前市大滝町

大瀧神社里宮の背後に広がる標高312mの権現山の尾根上に築かれた山城で、いくつもの平坦面、堀切跡が見られる。南北朝期には南朝方の拠点として大瀧寺の僧兵がたてこもったといわれています。

〔アクセス〕
ハピラインふくい武生駅から福鉄バス南越線「和紙の里」下車、登山口（大瀧神社）まで徒歩10分、車の場合は大瀧神社駐車場を利用

26 越前市 小丸城（こまるじょう）

県指定史跡



【築城年】天正3年（1575）から天正9年
　　（1581）の間
【城　主】佐々成政
【所在地】越前市五分市町

佐々成政が築いた平城で、越中に移封する天正9年（1581）までの短期間に廃絶したといわれる。小高い丘が本丸跡で、土塁や堀が残っている。前田利家が一向衆に対して厳しく弾圧したことが記された文字丸瓦が出土している。

〔アクセス〕
北陸自動車道武生ICから車で5分

27 越前市 鞍谷御所（くらたにごしょ）

市指定史跡



【築城年】不明
【城　主】鞍谷氏
【所在地】越前市池泉町
　　味真野神社境内

味真野神社境内を囲むようにコの字状の土塁と空堀が確認できる。鞍谷氏は、室町将軍足利義持の甥、嗣俊の子孫といわれていたが、近年、越前斯波氏一族の有力者であることが判明した。

〔アクセス〕
北陸自動車道武生ICから車で5分、万葉の里味真野苑駐車場を利用

28 南越前町 燧ヶ城（ひうちがじょう）

町指定史跡



【築城年】寿永2年（1183）
【城　主】仁科太郎守弘、今庄九郎入道浄慶
　　下間筑後頼照
【所在地】南越前町今庄

木曽義仲が平氏軍を討つため築いた城で、「平家物語」に登場する。南北朝期には足利方の今庄入道浄慶が居城し、新田方とのやり取りが「太平記」に記されている。この地を訪れた松尾芭蕉が「義仲の寝覚めの山か月悲し」の句を残している。

〔アクセス〕
北陸自動車道今庄ICから車で10分（今庄駅周辺の無料駐車場利用）、
今庄駅から登り口まで徒歩約10分、新羅神社裏手の山道を登ると約20分で城跡。